


安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	加熱油脂劣化度判定用試験紙 AV-CHECK
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	:	
会社名称	:	東洋濾紙株式会社
住所	:	東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階
担当部門	:	品質保証室
電話番号	:	03-5521-2176
FAX番号	:	03-5521-2177
メールアドレス	:	trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途	:	加熱油脂の劣化度判定
使用上の制限	:	上記以外の用途にご使用される場合は、 事前にご相談ください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	:	
物理化学的危険性	:	区分に該当しない。
健康有害性	:	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	区分2。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:	区分2B。
発がん性	:	区分2。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	区分3 気道刺激性、麻酔作用。
環境有害性	:	
水生環境有害性（急性）	:	区分2。
水生環境有害性（慢性）	:	区分2。
GHSラベル要素	:	
絵表示又はシンボル	:	
注意喚起語	:	警告
危険有害性情報	:	皮膚刺激。 眼刺激。 発がんのおそれの疑い。 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）。 眠気又はめまいのおそれ（麻酔作用）。 水生生物に毒性。 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
注意書き	:	
安全対策	:	取扱後は手をよく洗うこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの

応急処置

吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
： 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察・手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：	混合物	
化学名又は一般名	：	試験紙	
成分及び濃度又は濃度範囲	：	ガラス繊維	(CAS No. 65997-17-3)
		メチルレッド	(CAS No. 493-52-7)
		グリセリン	(CAS No. 56-81-5)
		炭酸ナトリウム	(CAS No. 497-19-8)
		ポリエチレングリコールモノ-p-イソオクチルフェニルエーテル	(CAS No. 9002-93-1)
官報公示整理番号			
化審法	：	(5)-243	メチルレッド
		(2)-242	グリセリン
		(1)-164	炭酸ナトリウム
		(7)-172	ポリエチレングリコールモノ-p-イソオクチルフェニルエーテル
安衛法	：	別表第9の314	人造鉱物繊維(ガラス繊維)

4. 応急措置

- | | | |
|-----------|---|--|
| 吸入した場合 | : | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察・手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察を受けること。 |
| 眼に入った場合 | : | 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 気分が悪い時は、医師の診察・手当てを受けること。 |

5. 火災時の措置

- | | | |
|-------------|---|---|
| 適切な消火剤 | : | 水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤、乾燥砂など。 |
| 使ってはならない消火剤 | : | データなし。 |

6. 漏出時の措置

- | | | |
|------------------------|---|--------|
| 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 | : | データなし。 |
| 環境に対する注意事項 | : | データなし。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : | データなし。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | | |
|-----|---|--|
| 取扱い | : | 取扱いの都度、容器を密閉する。
取扱い後は手をよく洗う。 |
| 保管 | : | 変質を防止するため、直射日光、紫外線、水漏れ、高温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、強アルカリとの接触を避ける。 |
-

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会	:	原材料としては、1 f / m l (暫定値)だが、 濾紙としては設定されていない。 (2019年度版) (ガラス繊維)
	ACGIH	:	原材料としては、1 f / c c [長さ5 μ m以 上、アスペクト比(長さ/直径)3以上の吸 入性繊維]だが、濾紙としては設定されてい ない。(2019年度版) (ガラス繊維) 10mg/m3 (TLV-TWA) (2015年度版) (グリセリン)
設備対策		:	局所排気装置および洗顔、洗身、うがい、 更衣設備などの設置が望ましい。
保護具		:	必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	固体、表面が平滑な紙。
色	:	青色。
臭い	:	なし。
融点/凝固点	:	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	:	データなし。
可燃性	:	不燃性。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:	該当しない。
引火点	:	該当しない。
自然発火点	:	該当しない。
分解温度	:	該当しない。
pH	:	データなし。
動粘性率	:	該当しない。
溶解度	:	データなし。
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし。
蒸気圧	:	データなし。
密度又は相対密度	:	データなし。
相対ガス密度	:	該当しない。
粒子特性	:	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の手扱い条件では安定。
化学的安定性	:	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	:	データなし。
避けるべき条件	:	高温、高湿。
混触危険物質	:	酸化剤。
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、臭 素、臭化水素、窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

: 区分に該当しない。
混合物の成分の急性毒性推定値（A T E）を加算式による計算値から判断した。

(成分として)

区分4。

(ポリエチレングリコールモノ-p-イソオクチルフェニルエーテル)

経皮

: 区分に該当しない。

吸入：ガス

: 区分に該当しない。

吸入：蒸気

: 区分に該当しない。

吸入：粉塵、ミスト

: データ不足のため分類できない。

(成分として)

区分4。

(炭酸ナトリウム)

皮膚腐食性/刺激性

: 区分2。

(成分として)

区分2 刺激性。

(ガラス繊維)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

: 区分2 B。

(成分として)

区分2 B 軽度の眼刺激性。

(ガラス繊維)

区分1。

(炭酸ナトリウム)

区分2 A。

(ポリエチレングリコールモノ-p-イソオクチルフェニルエーテル)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

: データ不足のため分類できない。

発がん性

: 区分2。

(成分として)

区分2。

(ガラス繊維)

生殖毒性

: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: 区分3。

(成分として)

区分3 気道刺激性。

(ガラス繊維、炭酸ナトリウム)

区分3 麻酔作用。(炭酸ナトリウム)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

: データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性		
魚毒性	:	(成分として) Tlm96;1,000ppm以上 (ガラス繊維)
水生環境有害性 短期 (急性)	:	区分2。 (成分として) 区分2 (ホ ^o リエチレン ^g リコールモノ ^p -イソオクチルフェニルエーテル)
水生環境有害性 長期 (慢性)	:	区分2。 (成分として) 区分2 (ホ ^o リエチレン ^g リコールモノ ^p -イソオクチルフェニルエーテル)
残留性・分解性	:	(成分として) 63% BOD (微生物などによる分解性が良好) (グリセリン)
生体蓄積性	:	データなし。
土壤中の移動性	:	データなし。
オゾン層への有害性	:	データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報 : 国内規制はない。

15. 適用法令

化審法	：	既存化学物質(5)-243 既存化学物質(2)-242 既存化学物質(1)-164 既存化学物質(7)-172	メチルレッド グリセリン 炭酸ナトリウム
安衛法	：	各称等を表示し、又は通知すべき危険及び有害物 別表第9の314	ホ ^o リフレング ^o リコールモノ ^o p-イソオクチルフェニルエーテル 人造鉱物繊維(ガラス繊維)
化管法	：	第一種指定化学物質(政令第408号)	(ホ ^o リフレング ^o リコールモノ ^o p-イソオクチルフェニルエーテル)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)